

半期の活動報告

要望書に関する活動



1:要望書公開回答の実施

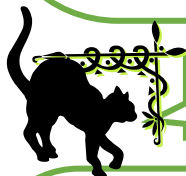
学生の要望に対する大学からの回答が公開形式で得られる、要望書公開回答を実施しました[詳しくはP2.3をご覧ください]。公開回答の実施にあたって、ビラや立て看板などを利用して情報宣伝を行いました。その結果20人の学生が公開回答に参加しました。また、参加者に感想文用紙を配付し、公開回答に関する感想や質問・意見を集めて大学に提出し、質問については大学に回答を要請しました。

2:要望アンケートの実施

学生の要望を実現するためには、学生一人ひとりが抱えている要望を把握することが必要となります。そこで学生自治会では、9月26日から11月14日まで、学費や講義・履修、施設・設備などに関する要望アンケートを実施しました。また、ウェブサイトからも回答の受付を行いました。

3:要望書案・要望書資料の作成

要望アンケートを通して得られた要望・意見や意見箱に寄せられた意見などをもとに、要望書案を作成しました。また、要望書案に記載されている事項に関して、要望内容の裏付けとなる要望書資料も併せて作成しました。



情報収集・情報宣伝に関する活動

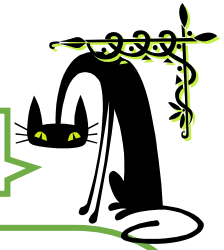
1:学生の意見や大学に関する情報の収集

意見箱やウェブ掲示板等の情報収集手段を活用し、学生の要望・意見を収集しました。また、寄せられた要望・意見は学生自治会の活動の参考にし、必要に応じて大学関係各所に伝えました。なお、学生自治会からの回答は、意見箱周辺に掲示するとともに、自治会総合情報誌『NASCA』、およびウェブサイトに掲載しました。また、インターネットや学生センターとの話し合いを通じて大学や学生生活に関する情報の収集も行いました。



2:学生生活にかかわる情報の宣伝

『NASCA』やウェブサイト、『Twitter』等を通じて大学や学生自治会に関する情報を発信してきました。また、学生生活に関する情報として、ポータルの一部の機能や駐輪場を紹介する記事を『NASCA』に掲載しました。



大学運営に関する活動

1:大阪府立大学と大阪市立大学の統合に関する活動

府市大統合問題に関し、学生自治会では大学関係者や大阪府大学教職員組合などと話し合いを行い、府市大統合に関する情報の収集を行いました。当初は平成28年度に新大学スタートが予定されていましたが、4月25日に延期が発表されました。しかし、府市大統合の話が白紙になったわけではないため、学生自治会では府市大統合に関する活動を適宜行ってきました。また、『「新・公立大学」大阪モデル(基本的な考え方)』が10月27日に策定されたため、『Twitter』にて情報発信を行いました。

また、府市大統合問題に関する現時点までの流れを、次回の『NASCA vol.45』に掲載します。

2:第2期中期目標・第2期中期計画・平成26年度計画に関する活動

平成26年度計画に記載されている、新たな授業料減免制度および奨学金制度の検討に関して竹内学生センター長と話し合いを行いました。その際、府大独自の奨学金制度について検討を行っているか尋ねたところ、「奨学金導入の案はあるが、必要性や条件について考えなければいけない点は多く、議論は進んでいない」との回答を得ました。また、要望アンケートにて「授業料減免制度を知らない」という学生の意見が多数寄せられたため、竹内学生センター長に伝えたところ、「今後は周知方法を改善し、新入生に対してはオリエンテーション時に説明を行う」との回答を得ました。なお、授業料減免制度については、学生自治会からも学生に対する周知を行います。



府市大統合に関するウェブサイト



大阪府/大阪府市新大学構想会議

<http://www.pref.osaka.jp/shigaku/kousoukaigi/>

大阪市立大学との統合について | 大阪府立大学

<http://www.osakafu-u.ac.jp/info/integration/integration.html>

大学統合について - 大阪市立大学

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/corporation/integration>





立て看板管理局



1:立て看板・ステージバックの管理・運用

悪天候時に立て看板を倒す、立て看板やステージバックの定期的点検を行うなど、立て看板やステージバックの安全な管理・運用に取り組みました。

また、8月7日に立て看板の一斉点検を行った結果、計19枚の立て看板が老朽化していると判断しました。それらの立て看板については、8月22日に学生自治会、友好祭実行委員会、白鷺祭実行委員会で修理を行いました。

2:立て看板の管理団体に対する講習会の実施

立て看板の管理団体を対象に、立て看板の取り扱い方法を熟知するための講習会を行いました。学生自治会には8月21日に、白鷺祭実行委員会には9月1日に、友好祭実行委員会には9月19日に講習会を行いました。

3:第66回白鷺祭本祭典中における管理体制の強化

白鷺祭本祭典においては、企画や催し物の宣伝手段として立て看板が数多く利用され、また立て看板やステージバックの危険性を知らない一般の方が多く訪れると予想されました。そのため学生自治会は、立て看板による事故が起きる可能性が高いと考えました。そこで、立て看板管理局では、白鷺祭本祭典中に立て看板付近に人が近づかないよう見張りを配置することで、立て看板による事故の防止に努めました。





その他の活動



1:りんくうキャンパスに関する活動

学生自治会は、意見箱やアンケートなどの情報収集手段を活用し、りんくうキャンパスの学生の実情の把握に努めました。また、りんくうキャンパスの学生に対しても、学生が大学や自治会活動について知り、意見を発することのできるようにするため、自治会総合情報誌『NASCA』を配付し、情報宣伝を行いました。

2:ステージ管理委員会

ステージの安全な管理・運用のため、月に一度定例会を行い、話し合いを行いました。また、ステージ管理局が中心となり、ステージの監視・保護および、ステージの利用団体に対する注意喚起等の管理業務を行いました。

3:学生団体連絡会議

『学生団体連絡会議規則』の内容について、既に存在しない団体が構成団体に含まれているのは不適當であり、また『学生団体連絡会議規則』の第9条「本会議は構成団体の過半数の出席により成立する。」に影響すると考えました。そのため、学団連の承認を得たのち、9月24日に『学生団体連絡会議規則』を一部改訂しました。

また学生自治会は、学団連の構成団体として、大学との意見交換により大学と学生が相互理解を深めること、大学の情報や実状を把握することを目的に、月に一度、学生センターとの話し合いを行いました。

4:大型PA 再購入実行委員会

大型PA(大型音響機器)の第4期再購入のため、定例会を開き、大型PAの現状確認や構成団体間の情報共有を行いました。

